

平成 24 年 12 月 7 日
生涯学習・文化財課

登録有形文化財(建造物)の新たな登録について

文部科学省の文化審議会(会長 宮田亮平)は平成 24 年 12 月 14 日(金)に開催される、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに 126 件の建造物を登録するよう、文部科学大臣に答申を行う予定です。

福井県関係では以下の 1 件が答申予定です。

なお、本県の登録有形文化財(建造物)は、平成 24 年 9 月 21 日に答申された瀧波家住宅主屋ほか 4 件に続いて、今回で 116 件となります。

【答申予定の登録有形文化財(建造物)】

名称	員数	所在地	所有者
ふじのげんくろうきねんかん 藤野厳九郎記念館 きゅうふじのけじゅうたくしゅおく (旧藤野家住宅主屋)	1 棟	福井県あわら市温泉一丁目 203 番 地 1	福井県あわら市

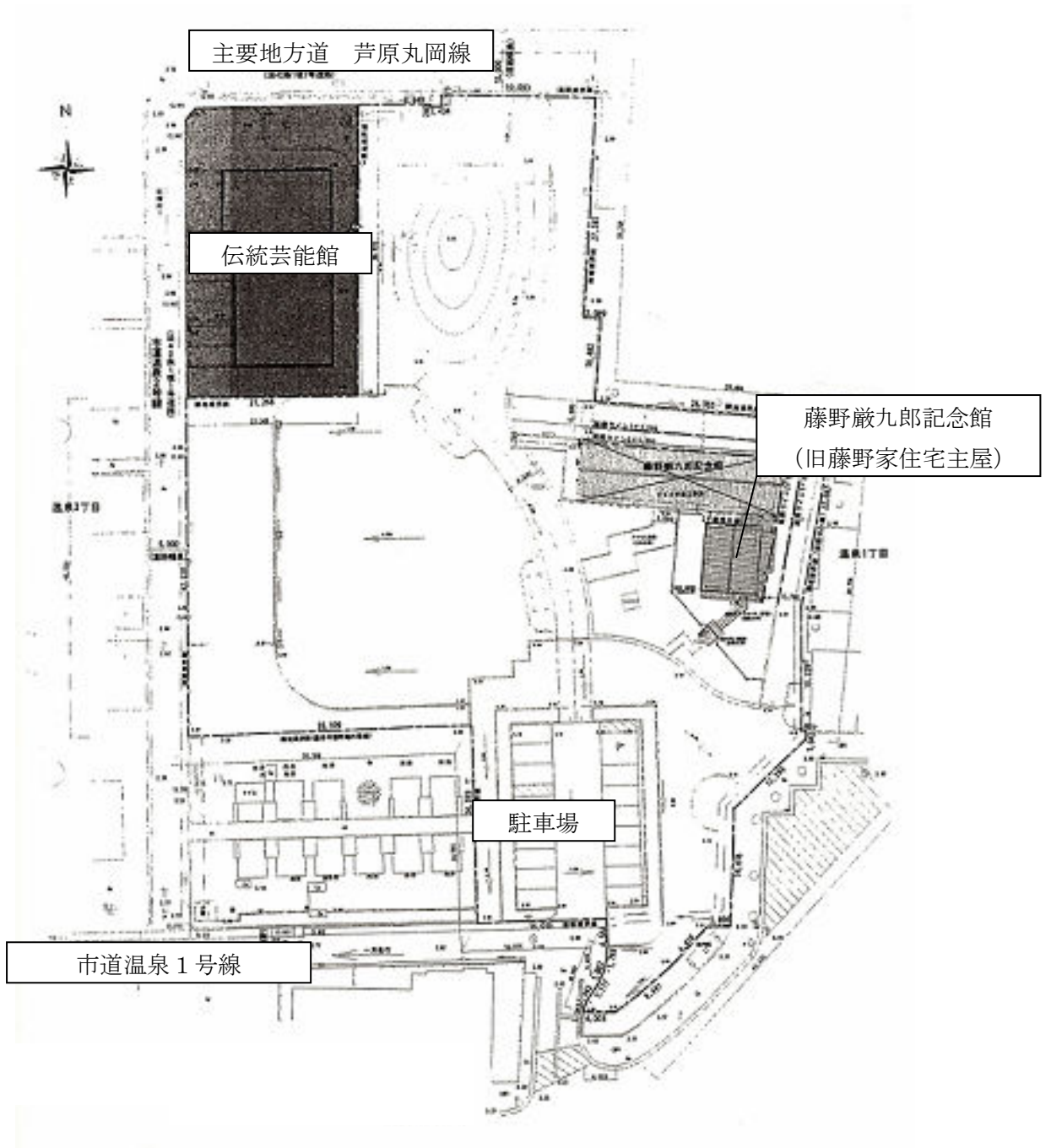
○藤野巖九郎記念館(旧藤野家住宅主屋) 1棟

- ・所在地 福井県あわら市温泉一丁目 203 番地 1
- ・所有者 あわら市
- ・年 代 昭和初期、昭和 58 年及び平成 23 年に移築
- ・登録基準 造形の規範となっているもの
- ・特 徴 藤野巖九郎記念館は、もとは三国町宿に建ち、魯迅の師である藤野巖九郎の住宅であった。現在は、あわら温泉湯の町広場の東側に移築し、展示施設として公開されている。
木造 2 階建て、切妻造り、妻入り、棧瓦葺きである。規模は桁行き 4 間、梁間 3 間である。壁面の広い範囲や、窓の外側も腰高に下見板張りを設けることで、海からの寒風対策を講じるところに日本海沿いの旧三国町における特徴がみられる。また総二階とする建ちの高い住宅であるところに、現代住宅につながる近代和風住宅の特徴をもつ。



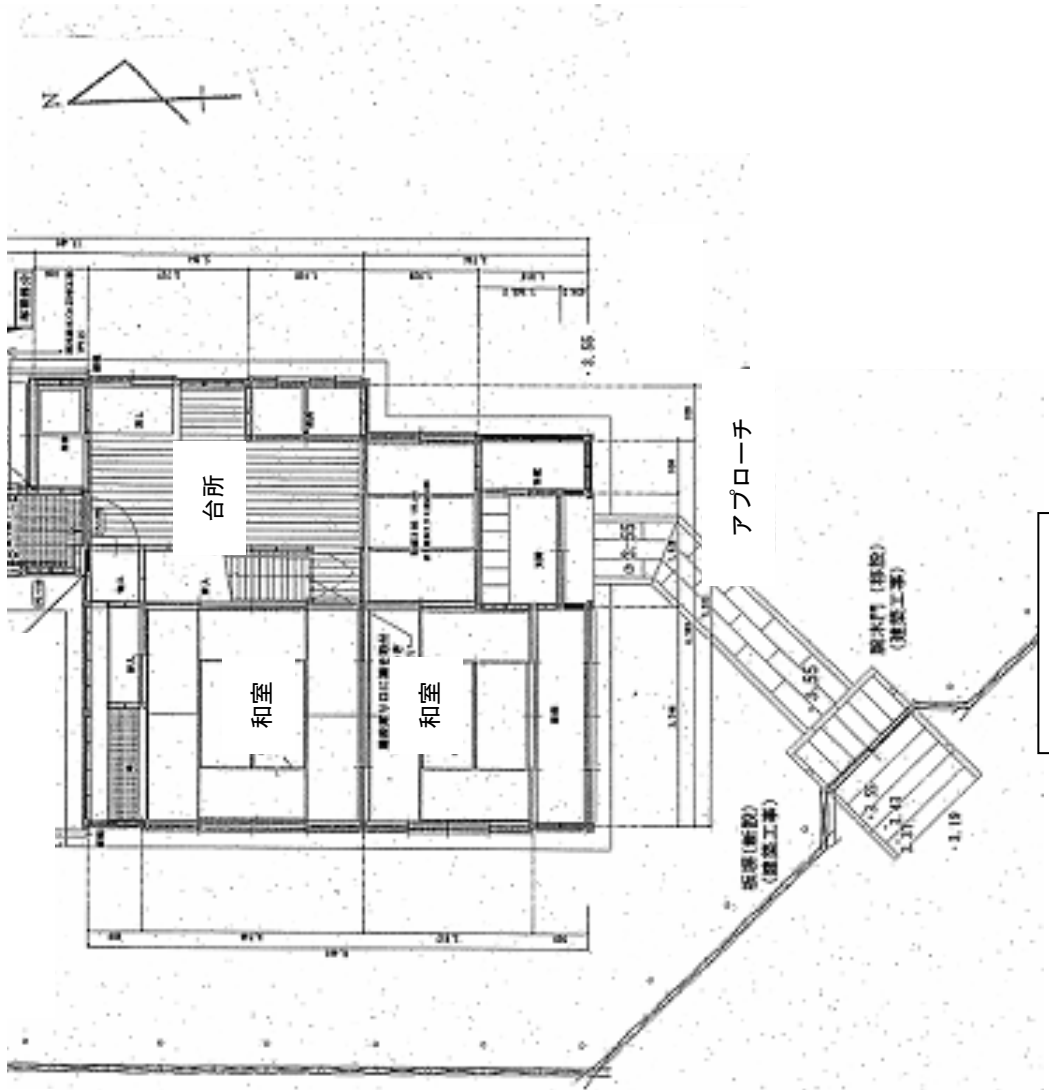


位置図

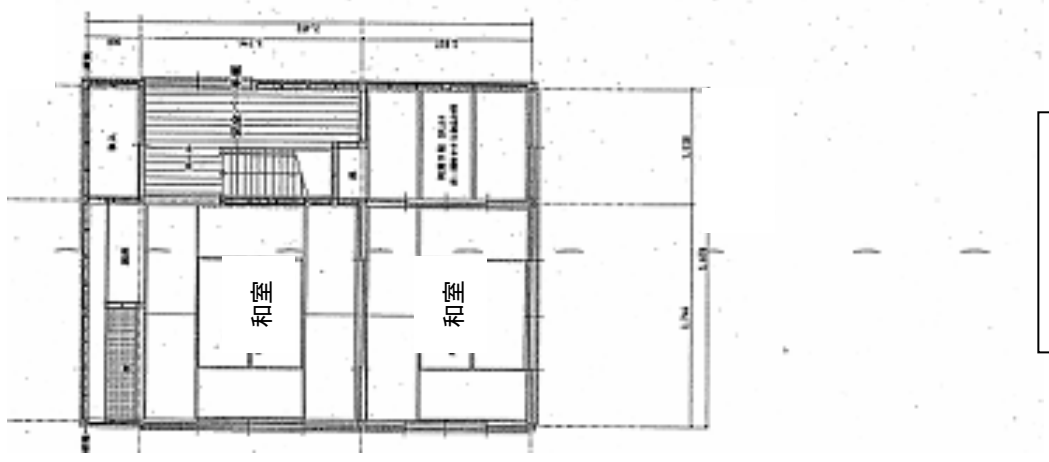


↓ (あわら湯のまち駅)

配置図



1階 平面図



2階 平面図